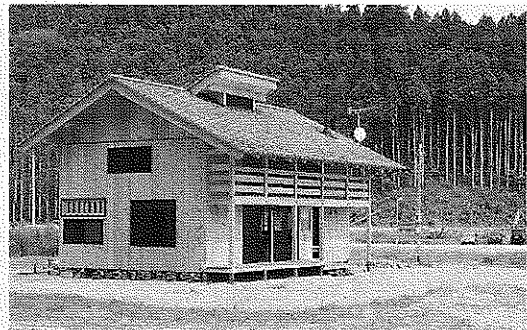


# 板倉構法の復興住宅 各地で完成

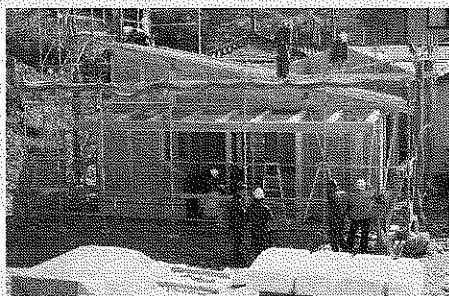
## 那賀川すぎ共販協組が部材供給

徳島県の板倉構法で建築された木造復興住宅が宮城県の本吉郡南三陸町と石巻市に次々と建築されている。



南三陸町に建設された板倉構法の木造復興モデル住宅

同県是那賀川すぎ共販協組の中心で、板倉構法を使った木造復興住宅部材を福島県いわき市などに合計206戸(97棟)分供給した。木の建築フレームをはじめとした多くの関係者と企業との共同作業で、80人の大工が3カ



石巻市の洞仙寺に建設中の社務所

想を反映させ、将来的には板倉構法の応急仮設住宅を復興住宅として活用するという当初からの方向性を視野に入れて取り組んでいるもの。

福島での応急仮設住宅でも設計、企画の中心となった安藤邦廣筑波大学教授が、板倉構法の木造復興住宅でも中心になって事業を進めた。12年秋に完成した南三陸町の復興住宅は「南三陸復興まちづくり」の事務所兼「モデル住宅」として建てられた。延べ床面積24坪、杉1寸厚板材と4寸角柱を基本とした板倉の壁材をはじめ、構造材や羽柄材、内装や造作、建具、水周りの急仮設住宅での設計思想、木材はすべて徳島

産の杉材を活用した。プレカット加工も徳島県内で行った。また、石巻市では津波被害に遭った洞仙寺の新しい社務所(10坪)で板倉構法の木造

建物建設され、12月末に完成した。同協組では「とっかかりは徳島県産材で、いずれは各地域で地場産の木材を板倉構法用に部材加工して木造復興住宅を施工してくれる」と考えている。木造復興住宅を通じて、地域木材産業の活性化に今後とも協力していきたい」と(湊俊司専務理事)と語る。

## 京都の「木」に関する情報を発信

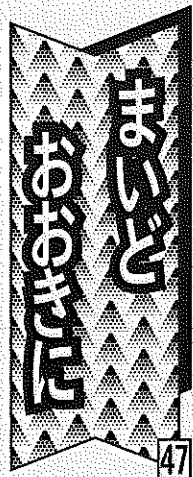
### 京都森林・木材塾が発足

京都議定書発祥の地、京都で「府内産木材を育成して、森を育ててCO2を削減する」を合言葉とした有志による「京都森林・木材塾」が立ち上がった。2月8日に設立総会を開催する。



林 代表

設立発起人は、前京都府木材組合連合会専務理事で同塾の林昌也代表、玉井公詞顧問、城山博子役員(総務担当)、藤田まり役員(広報担当)の各氏。同塾では、森林づくりから木造建築までの「木」に関する情報発信、体験活動、講習会などを開催する。また、府内の神社、仏閣、京町屋等の木造建築物見学会、森林・林業、銘木、竹に関する情報、バイオマス、京町屋、神社・仏閣、京の逸品情報などが紹介されている。



47

鋼材と杉大断面構造だ部材が主力となる。用集材材を融合したハまた屋根トラス下弦はイブリッド構造材を使 緩やかな湾曲形状となつた秋葉山県産屋内水 っているが、これは大泳場(和歌山市)の建 断面構造用集材材をつ

同法が制定され、物件が開始されている。今年のように県の木材関係事業者が繰り出で対応

## 木材の少量運送便

都 市	0.2m <sup>3</sup>	100kgまで	¥3,000
都 市	1.0m <sup>3</sup>	500kgまで	¥10,000
都 市	2m <sup>3</sup>	1000kgまで	¥25,000
都 市	3m <sup>3</sup>	1500kgまで	¥40,000

TEL.06-4309-1044 FAX.06-4309-1048

業、木材産業のPR、啓蒙などの活動を行っている。



エコプロダクツ展での展示

既にホームページも開設しており、京都府、市の関連行政機関、林業、木材関係団体活動、森林づくりへ向、林業、木材関係団体活動への理解が深まった(森林整備課)と語る。

同展に出展するのは初めて。企業、団体等700以上、来場者18万人近くと他に類を見ない展示規模と来場者数で、「県が推進する企業との森活動を普及する絶好の機会」(同)と位置付け、ブースを訪れた人に対し積極的

# 大型公共建築の木造・木質化

誠一 氏(社長) 工業社

公共建築物等木材利用促進法制定以前の案め1200立方以上強の件だったが、県は既に公共建築における県産材活用方針を示してお

同県の企業の森は現在、57企業・団体が参加、2009年秋で様々なCSR活動が行われている。また、森林によるCO2の吸収等環境保全活動認証事業も行